

一 般 質 問 通 告 表

平成26年第4回始良市議会定例会（12月1日（月） 午前9時開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 渡邊 理慧	1. 子どもの貧困対策について	<p>（1）子どもの貧困対策の推進に関する法律は子どもに対する教育の支援、生活の支援、就労の支援、経済的支援等の施策を講ずることを地方公共団体の責務としている。法施行後、始良市では具体的にどのような取組みを進めているか。</p> <p>（2）始良市の就学援助受給率は全国や県より低い。保護者負担軽減の対策をどのように考えるか。</p> <p>（3）生活困窮者自立支援法が平成27年4月1日から施行される。生活困窮家庭の子どもへの「学習支援事業」を積極的に導入する考えはないか。</p>	市長 教育委員長
	2. 男女が共に活躍できる市政について	<p>働く女性の2人に1人が非正規雇用で、賃金は男性の半分にすぎない。働く女性の4割以上が年収200万円以下である。</p> <p>（1）妊娠・出産による解雇や長時間労働、保育所不足などが女性の就業継続を阻んでいると指摘されている。子どもを産み育てながら働き続ける条件づくりをどのように考えているか。</p> <p>（2）単身女性の暮らしは深刻であり、20歳から64歳の勤務世代の単身女性の3人に1人が貧困状態にあると指摘されている。これらの解決のために始良市が果たす役割をどのように考えているか。</p>	市長
2. 上村 親	1. 新庁舎建設につ	（1）本格的な地方分権時代を迎え、	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	いて	<p>地方自治体には、これまでのように国の画一的な基準や省庁ごとの縦割り行政にしばられず、地域の実情やニーズにあった個性的で多様な行政の展開が求められ、庁舎には市民の参加や交流、連携による市政運営の拠点としての役割が求められる。庁舎整備の必要性をどのように考えているか。</p> <p>(2) 本館1号館は、総務省基準の耐用年数である50年以上が経過しているが、問題点はなにか。</p> <p>(3) 今後、建設については、基本理念・基本方針を定める必要があるが、どのように考えるか。</p> <p>(4) 建設計画については、25年度末現在の庁舎建設基金が5億5千6百万円となっているが、概算で建設費の額はいくらになるのか。また、基金の積立て額をどの程度で建設計画に移行するのか。</p> <p>(5) 新庁舎を建設する場合、庁舎の移転を考えているのか。また、現庁舎を建て直す考えか。</p> <p>(6) 庁舎建設については、市民代表・学識経験者等からなる「庁舎建設あり方検討委員会等」を設置する必要があると思うが、どのように考えているか。</p>	
3. 法元 隆男	<p>1. 始良市企画提案型まちづくり助成事業について</p> <p>2. 加音ホールについて</p>	<p>この企画提案型助成事業は平成24年度から26年度までの3年間の事業であると認識している。そこでこの事業の意義と成果について、そして今後継続する気はないか問う。</p> <p>加音ホールは平成8年秋開館したと記憶している。2年後平成28年には</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 本庁舎建設のビジョンについて</p> <p>4. 加治木地区の防災無線について</p>	<p>開館20年を迎えることになる。 現在まで加音ホールが地域文化の振興に大きく貢献して来たことを顕彰し、また建設に携わった方々を招き開館20周年を祝う記念行事を行う気はないか問う。</p> <p>現在の本庁舎は手狭である。今後総合支所の機能も考え、また合併推進債も視野にいたした上で、本庁舎のあり方、本庁舎建設の時期、場所等の考え方を問う。</p> <p>新しく導入した加治木地区の防災無線について、聞きとりにくい等多くの住民から苦情が出ている。このことについてどのように受けとめ、対策をどう考えているか問う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>
4. 神村 次郎	1. 「障害のある人もない人も共に生きる鹿児島づくり条例」について	<p>障害を理由とする差別をなくし、障害のある人もない人も、一人一人の人格と個性が尊重され、社会を構成する対等な一員として、安心して暮らすことのできる鹿児島づくりを進める条例が制定され10月1日施行された。まちづくりを進める上で市民がお互いに楽しく暮らすための重要な条例となる。以下について問う。</p> <p>(1) 市としてこの条例を活かして、どのようなまちづくりを進めるか。また、市民への理解を深めるために説明会等をする考えはないか。</p> <p>(2) 市は、障害者差別解消施策を策定することになるが、どのようなものとなるのか。また、策定時期はいつか。</p> <p>(3) 条文のなかに「社会的障壁の除</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 行政改革について	<p>去の実施について必要かつ合理的な配慮がなされないこと」というところがあるが、具体的にはどのようなことを言っているのか。</p> <p>行政改革・平成25年度進捗状況が報告されたところであるが、</p> <p>(1)「民間活力の導入推進」について 民間活力の導入については、行政の責任領域はどこまでか問われるところであるが、市民の理解と納得が必要で、行政コストが優先されることには慎重な対応が必要である。以下について問う。</p> <p>①施設の民営化の検討で「保育園の民営化」「給食調理業務の民間委託」について、25年度に調査を実施されているが、どのような調査がされたのか。調査の内容と、今後の進め方、検討内容について問う。</p> <p>②保育園については、26年度で検討委員会が設置されることになっているが、委員会のメンバーは、また、現在どのようなことが検討されているのか問う。</p> <p>③給食調理業務については、26年度「実施」となっているが、実施内容を問う。</p> <p>④給食調理場については、現在、正規職員が非正規職員に置き換えられ、次は、民間委託にだされようとしているが、「公共サービス」とは、何か問う。</p> <p>(2) 定員適正管理について ①平成27年度で1次の計画が終了するが、何人の削減となるか。28</p>	市長 教育委員長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	3. 川内原発再稼働について	<p>年度以降も削減の方針に変わりはないか。 職員削減により業務に影響はでなかったか。 市民サービスの低下はなかったか。 職員から不満の声はなかったか問う。</p> <p>②臨時職員の適正配置の推進及び縮減について26年度、27年度削減額が示されているが、どの部署を縮減予定か問う。</p> <p>(3) 給与の適正化について 時間外勤務手当の24・25年度実績が示されているが計画額を大幅に超えて成果を挙げているが、どの部署で削減できたか。勤務実態に見合った適正な時間外勤務手当が支払われているか問う。</p> <p>川内原発は、県知事、川内市長が再稼働に同意した。来年早い時期に再稼働になるようである。 過酷事故の場合、福島の実験から始良市も被災を受けることが想定されるが、市民の安全を守る立場から十分な説明と、理解がされたと思うか市長の見解を問う。</p>	市長
5. 小山田邦弘	1. ICT 教育の現状と今後の展望、課題について	<p>(1) 本市における ICT 教育の現状はどのような状況にあると捉えているか。 ①本市においては ICT 教育の狙いをどのように定めているのか。 ②ICT 教育に関わる機材や教材などの環境整備はどのようになっているか。</p>	市長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>③児童・生徒や教職員の知識・技能などの習熟度はどの程度まで進んでいると考えているか。</p> <p>④学校教育ばかりでなく、社会教育における ICT 活用はどのような状況にあるか。</p> <p>(2) 本市における ICT 教育の今後の展望と将来課題についてどのように考えているか。</p> <p>①今後、整備が必要と想定される機材や教材などはどのようなものが考えられるか。</p> <p>②それらが整備されることにより、教育現場や教育効果はどのような変化が見込まれるか。</p> <p>③ICT 教育が充実される一方で、ネットいじめなど不安視されるような問題点は想定されないか。</p> <p>④それらに対して、どのような対応策が検討されているか。</p>	